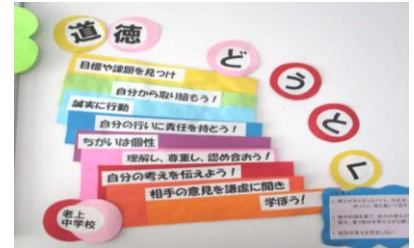




◇道徳教育の推進について◇

本校では、本年度、「考動力」・「学ぶ力」の向上をめざしてチャレンジプランを作成しています。以前にも紹介しましたが、その大きな柱となる取組は、次の5項目です。

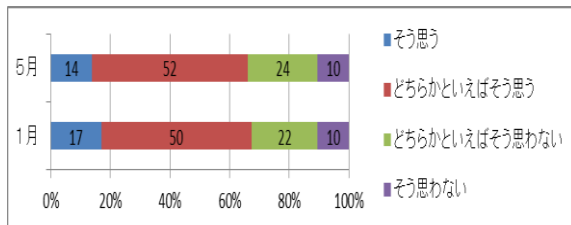
- ①「考動タイム」の有効活用（自主学习ノートの継続）
- ②深い学びを生み出す取組の推進（授業展開の工夫）
- ③授業での帯活動の推進（関連性を意識した取組）
- ④まとめの時間の充実（ふりかえりへの接続）
- ⑤ともに考え、内からの高まりをめざす道徳教育の推進（ともに学び合う意識の醸成）



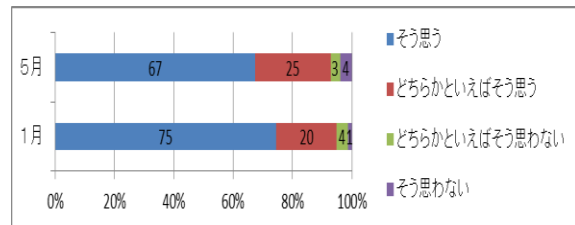
このうち、「内からの高まりをめざす道徳教育の推進」については、来年度から実施される「特別の教科 道徳」に向けて、平成29年度から本年度までの2年間、文部科学省・滋賀県教育委員会の委託を受け、「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」推進校として、「考え、議論する道徳」の実践のための具体的な方法について研究を深めてきました。

年度末にあたり、これまでの取組をふりかえるため、生徒向けアンケートを実施しました。滋賀県教育委員会の調査対象である2年生のアンケート結果の一部を紹介します。グラフは、年度当初（5月）と年度末（1月）を比較したものです。

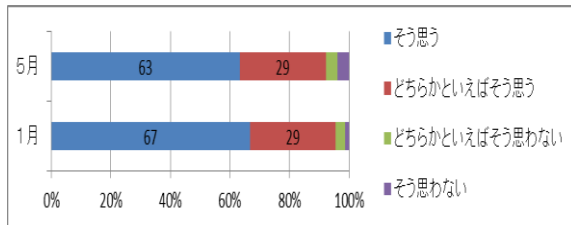
○「道徳の時間」の勉強は好きだ



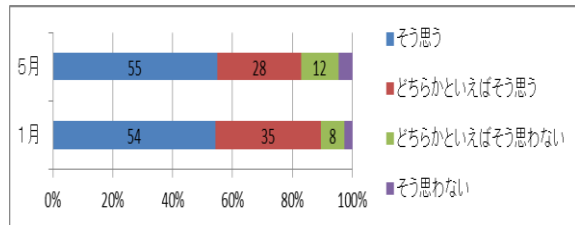
○人の気持ちがわかる人間になりたい



○将来のためにも、今、がんばりたいと思う



○学級みんなで何かをやり遂げ、うれしかったことがある



上記以外にも、「人には親切にしたい、人の役に立つ人間になりたい、努力する人間になりたい、人が困っているときは進んで助けている、いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」などで意識の高まりが伺えるようになりました。

「考え、議論する道徳」の中で大切にしてきたことは、自分の考え方や感じたことを大切にしながら、話し合い活動をとおして周りの人に思いを伝え、また、自分とは違った意見などにも耳を傾け、お互いに理解し合おうとする姿です。これからも、「考動」する生徒の育成をめざして、ともに学び合う道徳教育を進めていきます。